

研究会報告

第588回 神戸循環器病懇話会

日時：2024年4月25日(木)19時00分-20時20分

発信会場：神戸海星病院 会議室

配信形式：ZOOM

総合司会：神戸海星病院 理事長 井上 信孝 先生

講演1 19:00~19:30

『超高齢心不全患者の医療-福祉-介護をつなぐ
～慢性心不全看護認定看護師の役割～』

神戸海星病院 慢性心不全看護認定看護師 真崎 祥子 先生

講演2 19:30~20:20

『心不全診療における多職種・地域連携』

神戸大学大学院 医学研究科 循環器内科学分野 特命准教授
小林 成美 先生

第588回 神戸循環器病懇話会(KHC)が、当院からのWeb発信にて開催されました。KHCは1964年 前々回の東京オリンピックの時に第1回が行われました。今年でちょうど60年目を迎えました。KHCは、神戸労災病院の開設当初、種本基一郎先生、陰下尚典先生、大西一男先生によって始められた研究会で、循環器疾患を忌憚なく語り合う伝統のある研究会です。

今回は、超高齢化社会の中、重要な医療問題である心不全パンデミックにフォーカスをあて、**慢性心不全の多職種連携**をテーマにいたしました。当院の慢性心不全看護認定看護師の真崎祥子看護師の自験例の発表と、神戸大学 循環器内科 小林成美先生の講演が行われました。また、討論参加者として、本庄医院 本庄友行先生もご参加頂き、示唆に富む貴重なご意見を頂きました。

短時間でありましたが、有意義な討論ができたと思います。

この半世紀以上の歴史をもつ研究会がさらに良いものに、成長していくように努力していきたいと思います。



左から 本庄医院 本庄友行先生
真崎祥子慢性心不全看護認定看護師
井上、神戸海星病院綾部看護師長
神戸大学 小林成美先生

神戸海星病院 理事長 井上信孝